

、要請対

を確認

名簿を3

名簿

る。名簿

年3月31

る。

緊急応急

緊

了した年

2年間、

総合評価

評価項目

地域への

ことなる。

(その他

一

24年3月

余裕期間

広島県コンクリート診断士会

坂本氏が「ジオクリート」など解説

第52回定例会開く

広島県コンクリート診断士会(十河茂幸会長)による第52回定例会が15日、広島市中区で開かれ、広島工業大学工学部

の坂本英輔教授が特別講演「脱炭素に向けた取り組み」を披露。賛助会員企業による技術紹介もあつた。

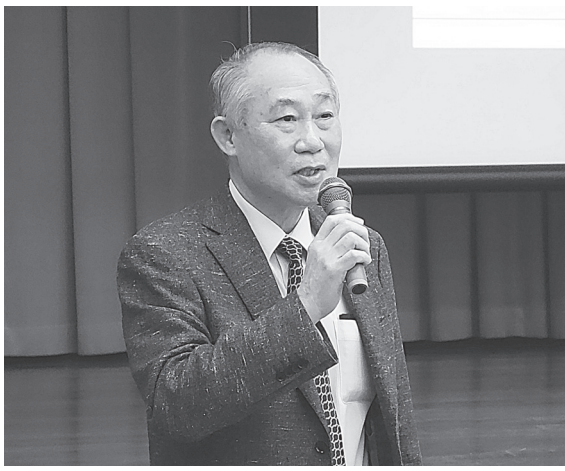
定例会は、会員の技術向上や情報交換などを目的に2011年の設立以来、隔月で継続開催しているもの。会員・賛助会員ら約30人が参加した会の冒頭で十河会長(近未来コンクリート研究会)は、「コンクリートは鉄に次いで二酸化炭素の排出量が多いため、今回の特別講演は、坂本教授に脱炭素に向けた取り組みについての解説をお願いした。貴重な機会を皆様の技術研鑽に役立ててほしい」と呼びかけた。

特別講演の中で坂本教授は、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた世界的な動きや日本国内のコンクリート関連業界の脱炭素に向けた

取り組みを詳しく紹介。さらに、セメントを使わないため、二酸化炭素排出量を大幅に低減できるジオクリートについての研究成果を映像を用いな

から詳細に説明し、参加者からは多くの質疑応答が寄せられた。

十河会長



また、賛助会員企業の技術紹介では、非開削推進・非破壊探査事業などを手掛けるアイレック技

建の竹下竜之介氏が登壇。非破壊で地中埋設部を探索する技術やコンクリートの配筋及びかぶり厚さが調査できる技術などを解説し、近年のコンクリート構造物の点検に使える技術なども幅広く提案した。

今回の定例会は4月12日に開催予定。今回同様、特別講演に加えて賛助会員の技術紹介などを企画している。

海岸工事で主作業船を使用した単体質量20t以上の異形消波ブロックの製作

予定価格1億5415万6000円
令和4年度(補正)出

設を1契約の工事で完了させた元請またはJV構成員としての実績がある

1300S、製作・沈設1基、FP魚礁3・0型製作・沈設76基

中建日報社 ホームページ
<https://chuken-news.com/>